

基礎医学委員会 形態・細胞生物医科学分科会（第25期・第2回）議事録

日時：令和3年8月20日（金）13：00－13：40

場所：オンライン会議

出席者：岡部、門松、河田、小路、後藤、澤本、高橋、内匠、武川、仲嶋、西、萩原、南、望月、米田、渡辺（欠席者：内山、中村）

議題

審議事項

（1）前回議事録要旨案の承認について

令和3年2月22日（月）開催の基礎医学委員会 形態・細胞生物医科学分科会（第25期・第1回）の議事録を確認した。

（2）第12回形態科学シンポジウムの準備状況について

仲嶋委員から、Covid-19の感染拡大を受け延期となっていた第12回形態科学シンポジウムについて、京都大学の松田道行教授と東京工業大学の大隅良典栄誉教授を講演者としてオンラインでの開催準備を進めてきた経緯について説明があった。全国700余りの高等学校に開催ポスターとチラシを郵送し、最終的に426名の高校生等からの事前申込みがあったことが報告された。

（3）今後の活動予定について

高校生や高校理科教員を対象として生命科学の楽しさを伝える形態科学シンポジウムを今後も継続し、2年後を目処にオンライン方式もしくは対面とのハイブリッド方式で行うことを確認した。今後も基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同細胞生物学分科会との共催で開催することについて、当該分科会の小林武彦委員長に打診することとした。

（4）その他

出席した委員より、日本学術会議が中心となって感染症やワクチンに関する基本的知識を学ぶ生物学（生命科学）の重要性を社会に向けて訴えていくべきとの意見が表出された。

報告事項

182回総会資料の声明「日本学術会議会員任命問題の解決を求めます」と「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」を説明し、任命問題に関する状況と日本学術会議のあり方に関する検討内容について、本分科会で情報を共有した。